学校番号	T1206

令和８年度　　工業科

教科	工業	科目	ものづくり実習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

ものづくり活動（レザークラフト・木工）を通して、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する実習である。
授業は自動車工場を中心に行うが、適宜その他工場でも行うことがあるので教科担当の指示を良く聞いて授業に参加すること。
実習系授業では、実習服を着用し安全靴や運動靴のように足を保護できるものを履くこと。
評価は学習態度、実習成果、レポートなどで総合的に評価する。

２ 学習の到達目標

「ものづくり」に取り組むことにより、基礎的・基本的な知識技術を身に付け、工業技術の意義や役割を理解させて、環境やエネルギーに配慮の上で諸問題を主体的・合理的に解決し、平和的な社会の発展に必要な工業技術の資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
［知識及び技術］実践的な作業と安全な機器の取扱いを学び、工業技術で使う各種機器等について基礎・基本の知識と技能を身につける。
［思考力・判断力・表現力等］課題（作品等）製作に向けて、技術的な課題の解決を目指し、基礎的・基本的な知識と技能で適切に判断し、他者と協議する能力を総合的に活用できようになる。
［学びに向かう力・人間性等］目標を達成するために課題（作品等）の完成を目指し、主体的み取り組む姿勢と能力および実践的な態度を身につける。

３ 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	「ものづくり」を行う課程において、目標達成に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、機器の原理や使用方法を理解し、その技術を適切に活用している。	作品完成のため、技術に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	作品の完成をめざして主体的に取り組もうとするとともに、目的完遂のための実践的な態度を身につけようとしている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	レザークラフトの基礎	実習安全 裁断 下穴開け 平縫い 作品制作	a:学習内容に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、課題解決のための技術と理論の意義や役割を理解している。学習内容に関する技能が身についていて、適切に活用できる。 b:学習内容が実際の現場や社会に与える影響を見い出し、その解決に向け条件設定する能力が身に付いている。 c:学習内容の関連に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	作品 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題ﾚﾎﾟｰﾄ	作品 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題ﾚﾎﾟｰﾄ	学習観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題ﾚﾎﾟｰﾄ
後期	木工の基礎	実習安全 各種電動工具の取り扱い プレゼンボード制作 ウッドバーニング ボールペン制作	a:学習内容に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、課題解決のための技術と理論の意義や役割を理解している。学習内容に関する技能が身についていて、適切に活用できる。 b:学習内容が実際の現場や社会に与える影響を見い出し、その解決に向け条件設定する能力が身に付いている。 c:学習内容の関連に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	作品 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題ﾚﾎﾟｰﾄ	作品 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題ﾚﾎﾟｰﾄ	学習観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題ﾚﾎﾟｰﾄ

※ 表中の観点について　a：知識・技術　　b：思考・判断・表現
c：主体的に学習に取り組む態度